

シリーズ国際交流②

佐世保を訪れる皆さんに佐世保の魅力をPRしたい

アンニョンハセヨ。韓国・坡州市からの交換公務員、崔イェビョルです。佐世保にやってきて、既に5カ月になりました。佐世保に来て一番感銘を受けたのは、自然の美しさです。山と海に囲まれた風景は、韓国ではほとんど見られない光景で、内陸地方の坡州市では特にそうです。展海峰や弓張岳の展望台から見ると九十九島の独特の地形が広がっていて、どこから見ても美しいです。また、九十九島水族館「海きらら」は地元の海の生態系をそのまま見ることができる、いい学習の場だと感じました。佐世保が持っている資源を、素晴らしい観光地として活用しているところが特に印象に残りました。

また、来る前から佐世保は外国人が多い街だと聞いていましたが、実際に毎日のように外国の方に出会えることに驚きました。今年度からこの環境を生かした「英語シャワー事業」が始まっていますが、市民が自然に英語を身に付ける環境づくりに取り組むのは、グローバル時代の今、大変良いアイデアだと感じました。私も佐世保にいる間に、いろいろな活動に参加していきたいと思っています。

私の今後の目標は、「海風の国・観光マイスター検定試

験」に挑戦することです。5月に韓国の釜山広域市西区からの行政訪問団の皆さんを案内する機会がありました。研修が始まってから学んだことを生かして佐世保の観光地について説明しましたが、自分の言葉で伝え、相手に理解してもらえたことに、とてもやりがいを感じました。これから佐世保を訪れるお客さんに佐世保の魅力をもっとPRできるよう、マイスター検定試験の合格に向けて勉強に取り組みたいです。

佐世保での一年間、日本の先進的な行政を学んだり、YOSAKOI させば祭りに参加したりしながら、佐世保の皆さんといい思い出を作りたいと思います。両市の橋渡し役を誠実に努めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

国際政策課 ☎ 24-1111



させば観光3しい「佐世保の楽しい・おいしい」 戸尾市場・とんねる横丁

市民一人一人に「させばの3しい(美しい、楽しい、おいしい)」を持ってもらい、観光客にPRしていただく「させば観光3しいGO!作戦」。今回は市内中心部にある「戸尾市場・とんねる横丁」を紹介します。

大正時代から佐世保の台所として親しまれてきた「戸尾市場街」。国道に沿ってとんねる横丁があり、すぐそばに戸尾市場があります。とんねる横丁は戦時中の防空壕をそのまま生かして作られた市場で、戸尾市場は新鮮な海産物をはじめ、水産加工品、青果、日用雑貨、衣料品などの店が軒を連ねています。古き良き昭和の雰囲気が漂う、人情味あふれる商店街です。市民の皆さんもぜひ足を運んでみませんか。



観光課 ☎ 24-1111

人の動き

7月1日現在

総人口 251,973人 (-162人)

男性 118,933人 (-91人)、女性 133,040人 (-71人)

世帯数 105,369世帯 (-60世帯)

6月中の動き

転入 453人、転出 544人、出生 165人、死亡 236人

させば市政だより

テレビ

NBC 土曜 9:25 ~ 9:30、NCC 土曜 11:40 ~ 11:45

KTN 土曜 11:45 ~ 11:50、NIB 日曜 6:30 ~ 6:35

ラジオ

FM長崎 火曜 9:05 ~ 9:10

FMさせば 金曜 13:00 ~ 13:55、土・日曜 8:00 ~ 8:55(再放送)

新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

市長記



新しい移住サポートプラザで「させば暮らし」を発信!

6月29日、「させば移住サポートプラザ」が市役所から新港町のさせば五番街に近い「新みなとターミナル」内に移転しオープンいたしました。

2040年には日本のほとんどの市町村が、現在の人口から約2割~3割減少する時代を迎えます。佐世保市も例外ではなく、何の方策も打たなければ、現在の約25万人から6万人減り、約19万人になるのではないかとされています。

人口を減少させないためには、「合計特殊出生率を上昇させる」「移住者を増やす」「転出を抑制させる」などの方策があります。本市においても「佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本年度は人を呼び込み、仕事を生み出すことに重点を置いた「8つのリーディングプロジェクト」など、さまざまな事業に官民連携で取り組んでいるところです。

移住に関する取り組みについては、移住希望者のサポートを行うために、昨年度「させば移住サポートデスク」を市役所内に開設し、ワンストップで対応できるようにしました。その成果として、平成27年度は移住相談が63件で移住者0人だったのが、28年度は移住相談が182件で移住者60人と大幅に増加しました。そして、今年度は4~6月までの実績で既に相談件数が102件、移住者が28人となっています。

これは全国的に移住ムードが高まる中、移住支援策の



させば移住サポートプラザ
新港町8の1 ☎ 25・9251

充実や移住サポートプラザでの対応をはじめ、移住相談会への積極的な参加、移住応援ガイドブックやSNSなどの情報サイトを通じた「させば暮らし」の発信などによって、佐世保の住みやすさが広まった結果ではないかと思っています。

新しいサポートプラザは港に近く、移住を希望される方をお迎えする玄関口として、「させば暮らし」のイメージをお伝える絶好の場所だと思います。市民の皆さまが、市外のご家族や親戚、友人、知人の皆さんに、住まい・仕事・子育て・移住支援策など、UJIターンをお勧めするための資料もたくさん取りそろえてあります。また、相談員が常駐し、土・日曜、祝日も相談をお受けする体制ができていますので、見学がてら、ぜひ立ち寄りいただけますよう、職員一同お待ちしております。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 65

聞いて「徳」する話 27 少年の優しい一言

日宇スポーツセンターの近くにある「ひよみの丘公園」にはブランコや鉄棒などがあり、子どもたちの格好の遊び場になっている。土日ともなれば子どもたちの楽しそうな声が近所の我が家にも聞こえ、その活力をもらえそうな気がする。

しかし、子どもたちが帰った後にはお菓子の袋や遊び道具が散乱している。直接注意したこともあるし、ゴミ箱はないので持ち帰るように促す注意書きもある。しかしあまり効果はなく、私はごみ拾いを続けている。

5月の連休の早朝、ごみ拾いも終わろうとしたとき「何をしているのですか?お手伝いしましょうか」と男子高校生が近付いてきた。高校生は公園の横のグラウンドでサッカーの練習を一人でやっていたよう

だ。私は今までずっとごみ拾いをしてきて、こういう声を掛けてもらったのは初めてだった。彼の優しい一言で幸せいっぱいになった一日であった。

大和町 中田 祥子(70代)

「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた“聞いて「徳」する話”を募集中です。応募用紙に必要事項を記入し、事務局に応募してください。応募用紙は市ホームページからどうぞ。
事務局
佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
〒857-0054 栄町4番11号
電話・ファクス 23-2856
Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!